

指標 3.4.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 3.4.1 心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の死亡率

ターゲット 3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

ゴール 3 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

定義及び根拠

○ 定義

年間の死亡者年齢30～69歳（集団）の死因（心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の合計）死亡数を日本人人口で除したものであり、10万人当たりで表される。

○ 概念

心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患には、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改訂（ICD-10）」におけるI00-I99、C00-C96、E10-E14及びJ30-98がそれぞれ該当する。

○ 根拠及び解釈

人口動態調査は、各自治体に提出された死亡届を元に死亡票を作成し、死亡票に記載されている死因や状況の記載により原死因を特定している。その原死因から「心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患」と特定されたものを年間で積み上げたものを「心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患」の死亡数としている。

データソース及び収集方法

人口動態統計

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

死亡者年齢30～69歳の死因（心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の合計）死亡率＝

年間の死亡者年齢30～69歳の死亡（心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の合計）数／年間の30～69歳日本人人口×100,000

○ コメントと限界

人口動態統計では全年齢（年齢階級別）の死因ごとに死亡率を算出して

いる。SDGs の正確な算出方法は不明だが、死亡者年齢 30～69 歳（集団）の死因（心血管疾患、がん、糖尿病、または慢性の呼吸器系疾患の合計）の死亡率と仮定し算出した。

また、人口動態統計のコード範囲は ICD-10（2013 年版）適用により 2017 年から癌が C00-C96 となったが、他の疾患に関して変更はない。SDGs の癌のコード範囲は C00-C97 となっているが、日本の指標では C97 は含まれない。

データの詳細集計

年齢階級（5 歳階級）別に算出は可能であるが、膨大なデータファイルとなるため、総数データを掲載する。

参考

人口動態統計

データ提供府省

厚生労働省

関連政策府省

厚生労働省

担当国際機関

世界保健機関（WHO）